



■発行/都会メディカルケアシステム 渡辺 康介
 ■編集/福利厚生・広報委員会 京都市北区大宮南田尻町59番地
 ■ホームページ/https://www.miyakokai-kyoto.com/
 ■お問い合わせ/info@miyakokai.or.jp

理念
 ■患者様・ご利用者様の立場にたったキュア(医療)・ケア(介護)を提供いたします
 ■医療・介護・福祉を通して地域、社会に貢献いたします
 ■職員の質の向上をはかります



今月のご長寿様

東 富雄様

大正14年10月20日生(96歳)



良いコミュニケーションとは

渡辺西賀茂診療所

医師 池田 葵尚

令和3年4月より1年間非常勤医師として勤務させて頂いたのちに、令和4年4月より常勤医師として渡辺医院の外来診療と渡辺西賀茂診療所の訪問診療に従事させて頂いております。

合医療センター、京都府立医科大学附属病院といった地域の基幹病院での勤務を経験してきました。今までは違い都会(みやこかい)での外来診療と訪問診療では、病院勤務医の頃よりもご利用者さんとのご家族と接する時間も長く、コミュニケーションの重要性を感じています。コミュニケーションでは、相手の伝えたいことをきちんと理解し、こちらの伝えたいことをしっかりと相手に伝わるようにすることになります。幅広い年代の様々な社会背景の方と接するので、どの方と接する時も一様ではないと感じています。内容に関しても、医療のこと以外にちょっとした世間話もしながら、独りよがりにならないように相手の方にとって心地の良いようにコミュニケーションをとれることを目指しています。私はお笑いも好きな関西人なので可能な相手と傷つけることのないユーモアのあるコミュニケーションも取り入れられればとも思っています。最終的にはご利用者の方に「話しやすい」と感じてもらうことが理想ではないかと思えます。

数年にわたるコロナ禍で、マスクをしたままで表情の見えにくい状況でのコミュニケーションが続きますので、そうしたことを今一度考えながら日々の診療にあたりたいと思います。都会の職員同士でも、普段からコミュニケーションをしっかりと取り、相手の性格や考えをよく理解しながら、円滑にそして楽しく仕事をしたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

都の風 川柳

優秀賞

大文字 見て待つデーの 送迎車

大坪昭明様

船点火 旨に燃るや コロナ帰依

山本春雄様

女子学徒で在りし日はるか終戦日

小川昭江様

借景の 比叡十五夜の 月のぼる

家辺三枝子様

※優秀賞クオカード1,000円分

佳作クオカード500円分

特別賞クオカード500円分をそれぞれ贈呈。「都の風」では引き続き川柳を募集しています。ご応募お待ちしております。

次点

介護うけ 愛情一パイ いやされる

西賀茂センター匿名様

オミクロン 終止の願い 七夕に

佐々木尚枝様

祇園祭(さい) 勇壮鉾が 微動せず

佐々木尚枝様



クロスワード「答え」

1	ノ	2	シ	3	シ	4	ク
5	リ	6	コ	7	シ	8	ユ
	ト			9	キ		ク
		10	ホ		シ		ガ
			ヒ		ラ		ヤ
							キ
							リ

キノコガリ(首狩り)

Facebook QRコード



Instagram QRコード



ホームページ QRコード



災害対策委員会 からのお知らせ



災害対策委員会から以前、この紙面で災害が起こる前に日頃から備えをしましょうとご案内させていただきました。

今回は具体的にリストを掲載しましたので参考にしてください。食品に関しては蓄えた物を消費期限内に食べ、食べた分をまた補充するというローリングストック法がおすすめです。量としましては最低3日分。大災害を想定するなら一週間分を準備するといわれています。また、実際の被災者の声として、食器を洗う水が無い場合にラップを皿に被せると便利だったそうです。

その他の物品についても日頃からバッグにまとめておき、いつでも持ち出せるようにしておきましょう。

- ・水 ・食品 (日持ちのする物)
- ・カセットコンロ ・衣類 ・レインウェア
- ・スック靴 ・懐中電灯 (手動充電式が便利)
- ・携帯ラジオ (手動充電式が便利)
- ・電池、携帯充電器 ・マッチ、ろうそく
- ・救急用品 ・使い捨てカイロ
- ・軍手 ・洗面用具 ・タオル
- ・感染症対策グッズ ・貴重品など



西賀茂 デイサービスセンター 日常の様子



職員の企画で
松尾大社に
いってきました!



こっちに来い来い!
カタツムリゲーム!



デイで採れた紫蘇で
紫蘇ジュース作り!

オンコール日誌

訪問看護ステーションにしがも
看護師 山内 由佳理

ある日のオンコールで受け持ち癌末期の方をお看取りしたお話です。

A氏は治療経過中に呼吸不全に陥り、家族の希望にて気管切開術を選択されました。しかしA氏は気管切開という選択を受け入れられないまま声を失い、生きる希望を失われた状況で退院され訪問看護が開始となりました。

訪問時A氏が筆談で書かれることはいつも「生きている意味がない。」「早く死にたい。」と生きることを諦めておられるような内容でした。`自分の姿を見られたくない、と自宅から出られることはありませんでした。

ご主人と2人暮らし。ご主人が準備されるお惣菜や配食弁当はあまり手をつけられません。そこで、もともと料理が得意なA氏と一緒に調理することを提案しました。A氏と献立を考えながら天ぷら

と一緒に調理し、2回目はハヤシライスを希望されました。「孫も美味しいって喜んでくれる。」と笑顔で話して下さったことが印象に残っています。

3回目は餃子を作る予定でしたが、残念ながら3回目は叶わず、早朝にご主人より呼吸停止の連絡を受け訪問しました。

ご家族と一緒に最期のケアをさせていただきながら娘様から「母が選んだ献立は全て息子が好きなメニューばかりです。母が喜ぶことが家族の支えになりました」とお言葉がありました。仕事で忙しい娘様のために小さい頃から同じマンションに住むお孫さんの面倒をみて大切に育てられたそうです。献立を一緒に考えている時、調理

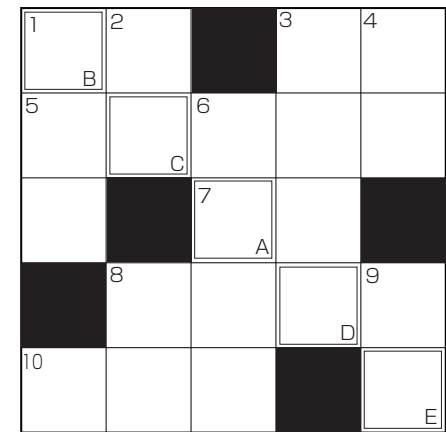


をしている時、お孫さんの食べている姿を見ている時は、お孫さんの存在が生きる力となり、前を向いて生きる時間であったことを知りました。

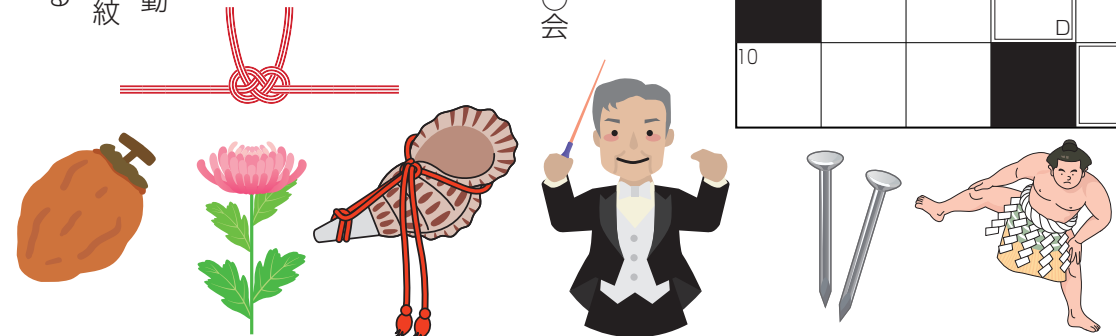
看護師は最期のエンゼルケアはできるだけご家族と一緒に身体を拭かせていただき、その方を想いなが

ら語り合い、偲ぶ時間を大切にしています。それが遺された方の心のケアに繋がると考えています。オンコールでお看取りする機会は多くあります。これからも看護師はその方に敬意を込めてケアし、家族に寄り添っていきます。

- 「たてのカギ」
- 1 神主が唱える
 - 2 カ士が踏む
 - 3 祝うこと。○○○○会
 - 4 金槌で叩かれる
 - 5 タクトを振る人
 - 6 ○○吹き。○○貝
 - 7 ピンから○○まで
 - 8 <よこのカギ>
 - 9 贈答品に付ける
 - 10 ○○八苦
 - 11 身勝手な主張や行動
 - 12 ○○人形。○○の御紋
 - 13 軒下などで甘くする
 - 14 二階のなの家



「クロスワード」
「問題」
A～Eをつなぐと答えです



出題 小田 正